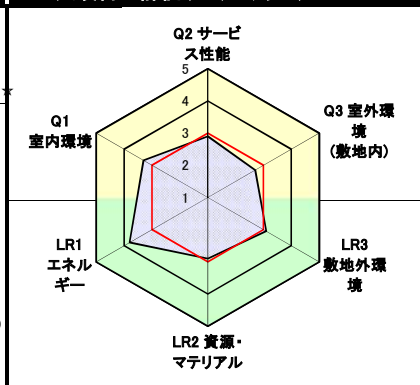
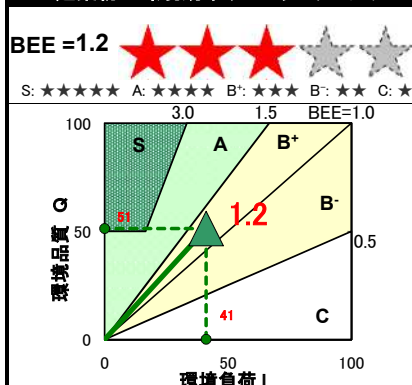
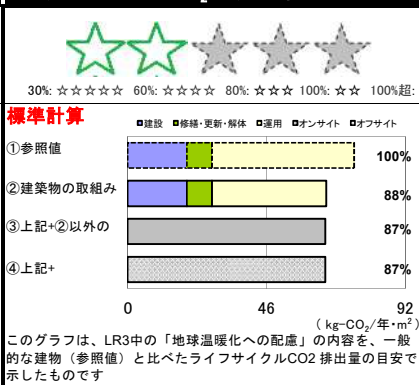


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)神奈川県海老名市中央二丁目PRJ	階数	地上14F
建設地	海老名市中央二丁目52番1	構造	RC造
用途地域	近隣商業地域、準防火地域	平均居住人員	930 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2027年4月 予定	評価の実施日	2024年11月27日
敷地面積	3,479 m ²	作成者	浅井謙建築研究所(株)
建築面積	1,983 m ²	確認日	2024年12月26日
延床面積	19,776 m ²	確認者	浅井謙建築研究所(株)

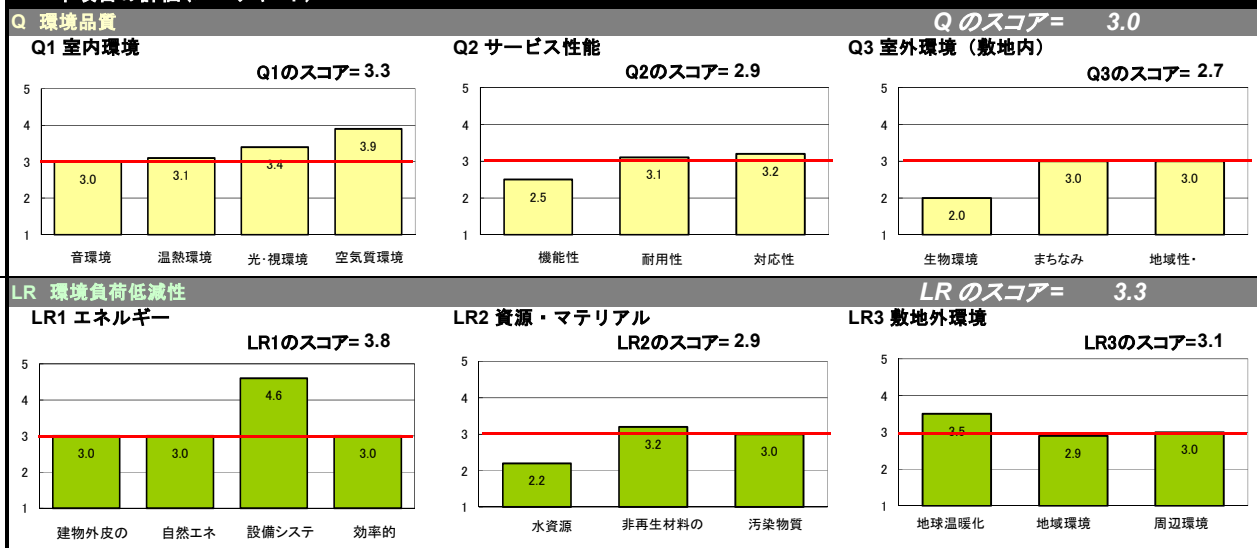
2-3 大項目の評価(レーダーチャート)



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)



3 設計上の配慮事項

総合 小田急小田原線海老名駅から徒歩9分の近隣商業地域に、地上14Fの共同住宅をRC造にて計画した。	その他 特になし。
Q1 室内環境 2.5% ≤ [昼光率] 建築材料は、JIS・JAS規格のF☆☆☆☆をほぼ全面的に採用している。	Q2 サービス性能 階高: 2.9m以上、3.0m未満
LR1 エネルギー BEI=0.74。	LR2 資源・マテリアル 躯体材以外で、床磁器タイルとビニル床シートと押出法*リシレンフォームの断熱材等のリサイクル材を採用している。
	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ 排出率が87%。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される